

**製品名: ATG7 (1F8) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM00775**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

**抗原情報**

遺伝子名	ATG7
別名	hAGP7; Ubiquitin-activating enzyme E1-like protein; APG7L
遺伝子 ID	10533
SwissProt ID	O95352
免疫原	ヒト ATG7 の合成ペプチド

**背景**

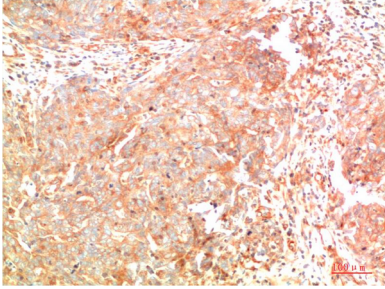
オートファジーの分子機構は主に酵母で発見され、オートファジー関連遺伝子 (Atg) と呼ばれています。オートファゴソームの形成には、ユビキチン様結合システムが関与しており、Atg12 は Atg5 に共有結合してオートファゴソーム小胞へと輸送されます。この結

合反応は、ユビキチン E1 様酵素 Atg7 と E2 様酵素 Atg10 によって媒介されます。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



ATG7 (1F8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。